



特別養護老人ホーム ハーモニー

住所:〒289-1104 八街市文違 73-2
電話:043-442-3911



施設長 大須賀サヨ子

平成20年10月1日に開設し、地域密着型ユニット型特養として定員29名、ショートステイ18名で始めました。いつまでも住み慣れた街で暮らす、喜びあふれた施設づくりを目標として、地域の皆様に愛される存在になりたいと常に願い続けてきました。平成30年には広域型特養へと事業転換を行い、定員47で再スタートしました。ユニット数は5ユニット、入居者様に寄り添いながら日常生活全般のお世話をさせていただいています。軽度から重度の様々な認知症の入居者様や傷病により車いす生活になられた入居者様など、それぞれの状況や状態に寄り添い、安心して暮らしていける生活の場を提供しています。また、皆様に楽しんでいただけるよう年間を通して毎月イベントを開催しています。令和4年11月9日には市内の農園様からのご招待で芋ほりイベントに参加しました。新型コロナウイルスの感染予防のため控えていた交流の場を再開し、令和4年12月のクリスマスイベントではランチバイキングを復活し、たくさん入居者様と職員の笑顔が見られました。

(文責 施設長 大須賀サヨ子)



職員紹介

私の担当業務は、ハーモニーのつるユニットで入居者様の生活全般のサポートをすることです。身体的介護としては、排泄や入浴、食事などの支援です。精神的介護としては、認知症や統合失調症などの病気の入居者様に、日々穏やかに生活をしていただけるよう、レクリエーションや話しかけを行ってコミュニケーションを図るようにしています。

私は以前も他の事業所で介護の仕事をしていましたが、家庭の都合により暫くの間、介護職を離れていました。令和4年8月からご縁あってハーモニーの介護職員として働くことになりました。毎日、人生経験豊かな入居者様の生活や人生に寄り添うことができ、充実した時間を一緒に過ごしています。また、入居者様の笑顔や感謝のお言葉に幸せとやりがいを感じます。今後もお一人おひとりが、穏やかに楽しく過ごしていただくことができるよう、日々努力をしていきます。

- 職氏名：介護職員 竹内裕美
- 趣味：カラオケ、ボウリング
- 好きな食べ物：いちご





副管理者 櫻井歳枝

特別養護老人ホームハーモニー デイサービス 笑顔の教室

住所:〒289-1104 八街市文違 73-2
電話:043-442-3911



笑顔の教室は、10名程の小規模な地域密着型のデイサービスですので、ゆったりとした時間をお過ごしいただけます。身体介護サービスはもちろんのこと、毎月のイベントや楽しく体を動かすレクリエーション、くもん学習療法での脳機能の改善など、一人ひとりの能力にあったプログラムを提供しています。イベントやレクリエーションの時など、ご利用者の皆様がとても協力的に、一緒に楽しく取り組んでくださるので、日々の様々な活動の大切さを感じています。

ご利用者様が「クスッ」と笑える瞬間をいつも考えており「今日も来てよかった!」「楽しかった!」と思っただけのサービスを目指しています。



令和4年11月7日は、午後のレクリエーションの時間に「射的ゲーム大会」を開催しました。ご利用者様と職員で作った「割りばし鉄砲」を使い、色とりどりのペットボトルやカップを狙って、白熱した対戦になりました。ご利用者様の「それっ!」「当たった!当たった!」と大きな声が飛び交う中、周囲からは、それに負けないうらいの笑い声が巻き起こり、みなさんの笑顔がとても印象的な大会となり、参加者全員が楽しんでいました。職員も皆で盛り上げ、ご利用者様の笑顔を引き出すことができました。

次回も、ご利用者様が笑顔で参加していただけるイベントを開催しますので、お楽しみに!

(文責 ユニットリーダー 前田芳成)

職員紹介

生活相談員業務の指導を受けながら、現在は介護業務を中心に、送迎、入浴介助、レクリエーションなどの業務を行っています。しっかりと相談業務を覚え、ご利用者様やご家族様とコミュニケーションをとりながら、信頼関係を築き、責任をもって行動できるように頑張ります。



- 職氏名
介護職員 塩澤法子
- 趣味
音楽を聴きながらのドライブ
- 好きな食べ物
えだまめ





乳児院 イーハトーブ

住所:〒289-1103 八街市八街に69-3

電話:043-440-0020



施設長 菅佐原 俊

イーハトーブは、児童福祉法や児童憲章に基づき、保護者のいない乳児および児童（以下「乳児等」）、虐待されている乳児等、その他環境上養護を要する乳児等を入所させて、明るくて衛生的な環境において、素養があり、かつ、適切な訓練を受けた職員の養育指導により、ここで生活する子どもたちが、いつでもいつまでも絶対的により良く生きられ、生き抜いていける「子どもの最善の利益の追求」と「その権利の養護の援助」を保障した養育を実践します。そして、すべての子どもを社会全体で育むという社会的養護の理念のもと、小規模グループケアや、担当養育制などの「家庭的養育」と、個々の子どもの育みを丁寧にきめ細かく進める「個別化養育」によって、子どもの未来の人生の基礎づくりに資する愛着関係や基本的な信頼関係の形成を目指した養育を実践します。また、児童福祉司等と連携して、家庭機能の支援・補完・再生などの家庭支援に取り組みます。さらに社会的養護の地域の拠点として、家庭に戻った子どもへの継続的なフォロー、里親支援、社会的養護の下で育った人への自立支援やアフターケア、地域の子育て支援などの専門的な地域支援の機能を強化し、総合的なソーシャルワーク機能の充実を図り、地域社会への奉仕と社会貢献等に積極的に取り組みます。

（文責 里親支援専門相談員 井上登紀子）

☆イーハトーブでは、季節に応じたイベントを実施しています。

1月…初詣、2月…節分、3月…ひな祭り、4月…お花見、5月…こどもの日・母の日、6月…父の日、7月…七夕、8月…水遊び、9月…お祭り、10月…芋ほり、11月…遠足、12月…クリスマス会



職員紹介

私は施設長として、入所児童の入退所の調整や、入所児童家族との関係づくりを行っています。また、外部関係機関との連携や、施設職員・児童相談所・家族との橋渡し役を担っています。元々人の顔を覚えるのが苦手で、顔と名前が一致しないことがよくあります。最近やっと電話の声を聴いただけで、児童相談所の担当福祉士さんが誰なのかわかるようになってきました。

○職氏名：施設長 菅佐原 俊

○好きなこと：晴れた日に布団を干してフカフカの布団で寝るのが幸せです！





八街かいたく保育園

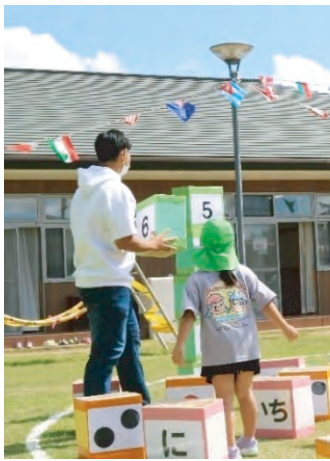
住所:〒289-1103 八街市八街に66-4

電話:043-442-4545



園長 木内正弘

八街かいたく保育園は、平成25年4月に定員66名で開設し、平成27年4月から45名増員し111名の定員となりました。現在は、0歳児から5歳児まで、113名の子どもたちが毎日元気に過ごしています。明るく開放的な園舎と広い芝生の園庭が特徴で、子どもたちは、園庭いっぱい広がる芝生で遊んだり、思いっきり走ったりして楽しんでいます。また、季節ごとに様々なイベントを実施していて、秋は敬老の日や運動会、12月には発表会がありました。それぞれの行事を大切に、みんなで取り組みながら楽しんでいます。



令和4年10月1日(土)と3日(月)に、第10回運動会を開催しました。今年も新型コロナウイルス感染予防のため、開催日を2日に分け、観覧者制限の中、クラスごとの開催となりましたが、両日とも天候に恵まれ、さわやかな秋の日差しのもと運動会を実施することができました。競技は、ダンスやかけっこ他、今年は3年ぶりに親子競技も再開し、子どもたちと保護者の皆様の笑顔溢れる運動会となりました。(文責 保育士 久保美和子)



職員紹介



うさぎ組(2歳児)の担任をしています。19名の元気いっぱいのお友だちと一緒に、芝生の園庭を元気に走り回ったり、発表会にむけて、お話を読んだり音楽に合わせて身体を動かしたりしながら楽しんでいます。トイレトレーニングでは、こまめに声掛けをして、トイレで成功した時には一緒に喜び、子どもたちのやる気に繋がるように援助しています。

私は、今年度で保育士になって3年目を迎えています。0歳児で担任をしていた子どもたちもみんな2歳、3歳となりました。周りの先輩保育士の対応を見ながら日々勉強中です。子どもたちの成長に負けないように頑張ります。

○職氏名:保育士 大里和瑚 ○好きな食べ物:スイートポテト
○趣味:楽器演奏(ピアノ、ユーフォニアム)



八街かいたく保育園 地域子育て支援センター「絵本とお庭」

住所:〒289-1103 八街市八街に66-4
電話:043-442-4545



八街かいたく保育園では、子育て支援事業として、地域子育て支援センター「絵本とお庭」を併設しています。地域で子育てをされている保護者の皆様のために、保育園のお部屋の一部と園庭を開放しています。室内では季節に合わせた壁面、おままごとや電車、ブロック、絵本等たくさんの玩具を用意しています。また、園庭全体が芝生に覆われ、転んでも怪我が少なく安心して遊べます。月ごとのイベントや育児に関する相談、他の保護者との交流の場としてもご利用いただけます。

開放時間：月～金（土日祝日お休み）

9：00～11：30 13：30～16：00（要予約）

イベント内容

- ◆ふれあいひろば：お部屋や園庭で自由に遊ぶ日です。
- ◆親子でつくろう：月3回季節に合わせた制作を行います。
- ◆身体測定：月2回お子様の身長・体重を測定し、季節等に合わせた手形、足形アートを作成します。
- ◆誕生会：月1回（午前のみ）開催月に該当するお子様の誕生日をお祝いします。手作りの誕生カード、ネームプレートをプレゼントしています。顔はめパネルでの撮影も可能です。
- ◆ハンドメイド：不定期ですが、ヘアゴム、お子様用のヘアピン等を作成します。主に保護者の方に作成していただき、作成中お子様は保育士がお預かりします。
- ◆電話相談：職員と電話にて育児相談等ができます。（お部屋、園庭開放はありません）
- ◆その他、季節に合わせてハロウィンイベントやクリスマス会を開催しています。

（文責 保育士 清水瑞恵）



職員紹介

小物制作や手形足形アートのデザイン・作成を行っています。来園したお子さんと一緒に遊んだり、保護者の相談等をうけています。制作は大好きで、完成したものをお子さまや保護者の皆様にプレゼントして喜んでもらえる、とても嬉しく思います。これからも、お子さまや保護者の皆様に喜んでいただけるよう、技術を磨いていきます。



- 職氏名
保育士 清水瑞恵
- 趣味
ソフトボール
- 好きな食べ物
パン、チョコレート





児童発達支援センター 銀河鉄道

住所:〒289-1103 八街市八街に 66-3
電話:043-440-0009



園長 堀江かほり

銀河鉄道は、0歳～6歳までの未就学児の体や心の成長が気になるお子様が利用される療育施設です。朝9:00に登園して、身支度などの仕方を一つひとつ丁寧にいき、体操や朝の会、午前のプログラムを行います。11:30からは給食で食具の持ち方、咀嚼や嚥下の支援を行います。

午後は、個別療育を中心に、一人ひとりに合った発達支援を提供しています。

夏祭り、運動会、クリスマス会（サンタクロースのご自宅訪問）など季節のイベントの他、外部講師による各種教室もあります。月に2回の公認心理師によるたんぽぽ教室や理学療法士による訪問指導、リトミック講師によるリトミックや月に1回の音楽療法もあります。そして、職員全員が指導を受けたムーブメント療育は、各クラス月に1回以上指導案を立てながら実施しています。今後は八街かいたく保育園やイーハトーブの子どもたちへ出張ムーブメントも行っていく予定です。

（文責 児童発達支援管理責任者 船木瑠衣子）



職員紹介

銀河鉄道を利用しているお子様一人ひとりの個別支援計画を作成して、それぞれの生活に基づいた支援が行えるよう職員に伝えたり、併行通園している保育園、幼稚園等の関係機関と連携をとったりしています。

銀河鉄道を利用しているお子様のように、成長が気になるお子様が、地域の保育園や幼稚園を利用する際、戸惑いが少なくなるように、また、受け入れる園の保育士さんが相談できるようにと、保育所等訪問支援に力を入れています。地域全体でのインクルーシブ保育とまではいなくても、成長に気になるところがあっても他の子どもたちと変わらない笑顔で過ごしていけるように、少しでもお手伝い出来たらと思っています。



○職氏名：児童発達支援管理責任者
船木瑠衣子

○趣味：祭り、スキー

○好きな食べ物：チョコレート



相談支援事業所 銀河鉄道

住所:〒289-1103 八街市八街に66-3
電話:043-440-0009



相談支援事業とは、障害のある方やそのご家族から相談を受けて、福祉サービスを受けるための手続きを行ったり、様々な福祉サービスの情報を提供したり、助言を行ったりする障害福祉サービスです。

お子様の体や心の成長で気になること等があれば、銀河鉄道に常駐する相談支援専門員がお話を伺います。親子で通える通所施設や日中活動できるサービスをご紹介したり、通園している園に支援に伺ったり、お子様に必要な支援を一緒に考え、ご家族の悩みに寄り添います。

(相談支援専門員 鎌形佳由)

職員紹介

これから障害福祉サービスを利用したいと考えている方に代わり、申請の際に必要なサービス等利用計画の作成を行います。ご本人様や、ご家族様の希望を伺い、その方のご希望に合ったサービスの提供ができるように計画を作成します。

サービスの利用が開始された後は、定期的にモニタリングを行い、サービスの内容が適切であるかを面談で聞き取り、必要な方には再調整を行います。モニタリング後は、各事業所や関係機関に報告し、連携してより良い支援へと繋がっています。

相談支援専門員として、一人ひとりの利用者様に寄り添い、利用者様のニーズに合った支援の提案ができるように真摯に向き合っていきます。利用者様が安心して生活が送れるように、利用者様の不安軽減や、楽しく生活できる環境の提供を行い、寄り添いながら支援しています。



○職氏名：

相談支援専門員 鎌形佳由

○趣味：ガーデニング

○好きな食べ物：麺類



開拓の原点は「子たちの心こそ道しるべ」にあり

社会福祉法人開拓創業者である山本正美前理事長は、宮澤賢治のこころ根である「子たちの心こそ道しるべ・灯」とした利他的な行動を経営の原点としました。誰もが自己実現の主体となり、誰もが持つ可能性を互いに磨き育て合い、それを認めあう福祉社会の実現に向けて、人としての根源的な愛情を基に卓越した福祉実践を追究し、法人の提供する福祉サービスの利用顧客の成長の権利と義務を尊重しその可能性を信頼し、社会福祉法人としての役割を果たし、社会から必要とされる人生を歩む人財（職員）を育成し、もって広く社会に貢献することを法人理念としています。



社会福祉法人開拓
理事長 内藤 晃

光る福祉で他法人との連携を進める

開拓は、平成19年10月千葉県知事の認可を得て設立されました。現在の事業は、特別養護老人ホーム「ハーモニー」（広域型介護老人福祉施設（定員47、うち空床型短期入所4）、地域密着型通所介護／地域密着型介護予防通所介護事業所「笑顔の教室」（定員10）、居宅介護支援事業所「開拓介護支援ステーション」、地域住民向けのプール、マシントレーニングジム機能を備える「サイクルハウス」、「八街かいたく保育園」（定員111の通常保育・延長保育、休日保育・一時預かり保育や地域子育て支援センター「絵本とお庭」を併設）、児童発達支援センター「銀河鉄道」（定員28、相談支援事業所「銀河鉄道」併設）、乳児院「イーハトーブ」（小規模グループケア・定員15、病後児保育事業「キュア」（定員6）と子育て短期支援事業（定員6）を併設）です。現在の職員数は145名であり地域の中堅社会福祉法人として、法律の理念とお客様である様々な能力のある方々の思いをつなぐ福祉サービス事業者としての使命に基づき常に時代の先端を走り続けつつ、社会に優れた人財を供給していくために今後も地域における公益的な取り組みを充実展開していきます。

さらに開拓は、令和4年10月に全国で4例目に認可された社会福祉連携推進法人「光る福祉」の構成社員として複数の社会福祉事業者とともに互いに切磋琢磨する場に身を置き、社会福祉連携推進業務を真摯に遂行していきます。

感謝の心でコロナを機会として支援の質を高める

開拓の職員は、それぞれの職場で卓越した支援技量の修得に努めながら日々業務に励んでいます。令和2年1月以来新型コロナウイルスの感染予防対策に明け暮れる日々は厳しい道の日でしたから、その職員の姿にはただただ感謝しかありませんでした。それでもなお、感染予防を理由に行動制限を受ける中であって支援の質が低下することは、コロナのせいではなく支援力のなさにとらえて、新型コロナを機会として支援向上へ大いに取り組んでいます。

聖徳太子の憲法十七条にある「以和為貴」とは、仲良し同士での付き合いを勧める言葉ではありません。自分とは考え方も価値観も異なる人と、いかに相手の気を読んで自らの言葉を律するかが求められているのです。上記の法人理念は、職員にとっては一つの灯火として示したのですが、職員一人ひとりには自ら持って生まれた特質と役割に順（したが）い、自分の志を他人の志と同じだけ大切に感謝の心の和を以て開拓の事業が着実に歩むことを強く願いつつ、私自身も自らを律して参りたいと思います。

